

知ってほしい、議会のこと

草津市

議会だより

令和5年5月1日
発行

No. 187

令和5年2月定例会号

『太陽と水のおくりもの』草津メロン

草津メロンは昭和57年から栽培が始まりました。40年を超える栽培技術の蓄積により、全国でもトップレベルの糖度をもつメロンとなりました。

例年5月末～6月上旬から各所で販売予約が開始されます。



草津メロン（緑肉）



草津メロン（赤肉）



審議された主な議案

2月定例会について

令和5年2月24日から3月24日まで2月定例会を開き、議案32件が市長から提出されました。なお、議員からは、条例案1件、意見書案3件を提出しました。

今号では、2月定例会中の3月13日から22日までの4つの常任委員会に付託された予算案や条例案などを慎重に審査した中から、いくつかの質疑等を要約してお伝えします。

令和5年度当初予算案を可決！

一般会計

548億2,000万円

(対前年3.2%)

特別会計

342億460万円

(対前年0.9%)

合計

890億2,460万円

(対前年2.3%)

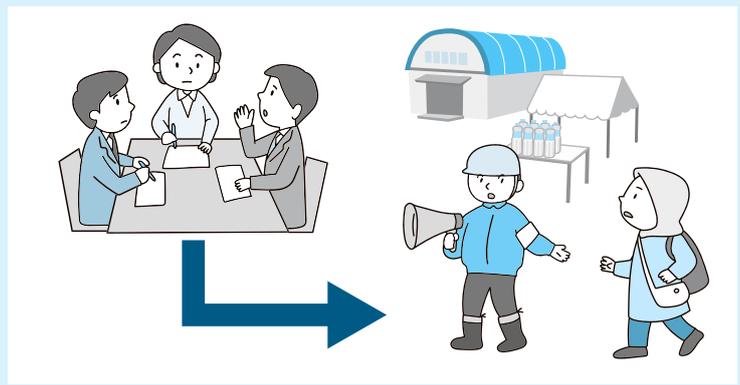
令和5年度当初予算は、一般会計が過去2番目に大きく、特別会計を合わせた全会計でも過去2番目に大きい規模となりました。前年度に引き続き、第6次草津市総合計画第1期基本計画に位置付けした「未来を担う子ども育成プロジェクト」「地域の支え合い推進プロジェクト」「にぎわい・再生プロジェクト」「暮らしの安全・安心向上プロジェクト」の4つのリーディング・プロジェクトを重点方針として位置付け、分野横断的な施策展開を図るために財源配分されています。

またこれらのほかにもDX・ICT等利活用推進費などの「行財政マネジメント」や焼却ごみ袋の有料化における指定ごみ袋制度見直し事業費をはじめとした「暮らしの安全・安心向上プロジェクト」の予算が措置されており、議会では、予算常任委員会において、これらの予算案の審査を行いました。

個別避難計画作成費

284万5千円

(事業の概要) 災害時に自力で避難することが難しい高齢者や障害者等の避難行動要支援者について、草津市避難行動要支援者避難支援プランに基づき、従来から取り組んでいた災害時要援護者登録制度を拡充し、居住地の災害リスクや一人ひとりの身体状況などに応じて、「誰とどこに避難するか」を具体的に定め、より実効的な個別避難計画の作成を推進し、地域の防災の向上を図る。



予算審査における質疑応答／意見〈予算常任委員会〉

議員 福祉専門職の方とも協力して個別避難計画を作成することだが、福祉専門職の方への費用は含まれているのか。

市 個別避難計画作成委託費として計上している27万3,000円に含んでいる。

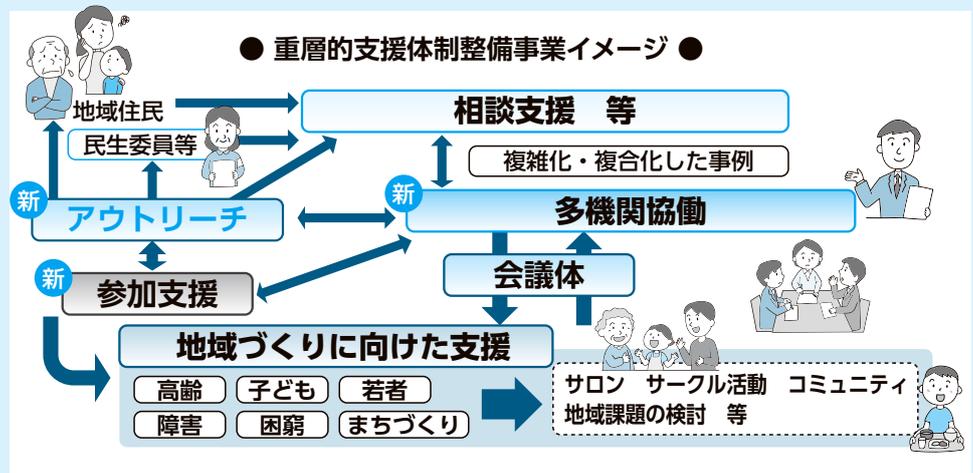
議員 福祉専門職の協力を依頼する事業所は決まっているのか。

市 具体的な事業所はまだ決まっていない。地域包括支援センターや庁内の福祉の関係課に相談を行っている段階である。

多機関協働等事業費

1,607万1千円

(事業の概要) 介護・障害・子ども・生活困窮の各分野における支援だけでは対応しきれないような住民の複雑化・複合化した支援ニーズにも対応できる包括的な支援体制を構築するため、既存の相談支援と地域づくり支援に加えて、各支援を支える多機関協働事業費、参加支援事業費、アウトリーチ事業費を一体的に取り組む。



予算審査における質疑応答／意見〈予算常任委員会〉

議員 多機関協働事業・参加支援事業・アウトリーチ事業と3つに分かれ、一部事業委託されようとしているが、委託先は決まっているのか。

市 これから選定するが、専門性に優れたところに委託したい。

議員 アウトリーチ事業では、専門職(社会福祉士、精神保健福祉士等)の新たな配置については、しっかり対応してほしいが配置人数は。

市 配置人数は1名ずつを考えている。

議員 重層的支援体制整備事業のイメージ図では、相談される対象(要支援者)はどこにあてはまるのか。

市 地域住民にあてはまる。

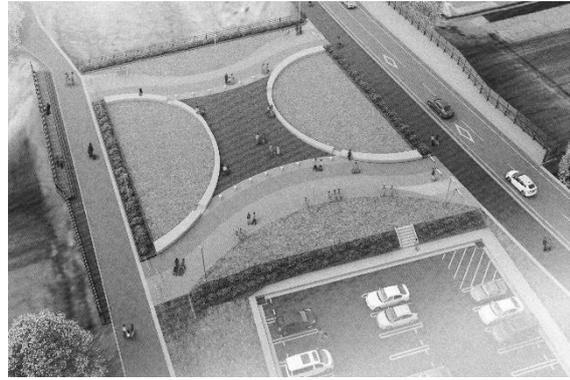
議員 重層的支援体制として、福祉中心だけでなく、税関係や法的なこと、学校等の関係もあり、さらなる幅広い連携が必要。

市 支援機関コーディネート会議等で、対象者の課題を分析し、対応できるよう、専門的役割を発揮していく。

草津川跡地整備費・公園運営費 2億7,507万8千円

（事業の概要） 区間4はJR琵琶湖線トンネルの交差部分が含まれており、この部分の道路拡幅は、令和4年度同様に県とともに工事を進める。この工事によって既に利用されているde愛ひろばとのつながりができ、草津川跡地公園のさらなる“にぎわい”と“うるおい”の創出を図り、周辺地域の魅力を高め、地域や世代を超えた市民の交流や多様な文化・コミュニティ活動の場づくりに取り組む。

● 区間4 JR琵琶湖線上部完成イメージ ●



予算審査における質疑応答／意見〈予算常任委員会〉

議員 対象となる区間に架けられている橋はどのような形状になるのか。

市 現在の橋（栄橋）は撤去する。完成イメージのとおり県道（右岸）と市道（左岸）が切り下がり、県道市道の間に挟まれる「de愛ひろば」西側に生まれる通路および広場に、人と自転車が往来できる代替え通路を設ける。

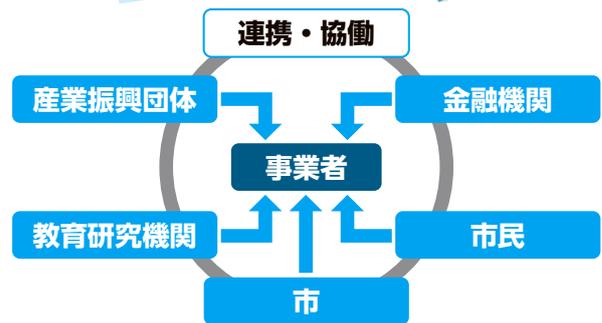
議員 拡幅された道路からJRの駅と線路を見下ろせる景観ポイントが想定できるが、安全対策をしっかりとしたものにされたい。

市 JR西日本からの指示である安全対策としてのフェンスの設置に加え、子どもたちが鉄道を見下ろせる景観を想定した設計とすることを考えている。

草津市産業振興計画推進費 963万9千円

（事業の概要） 令和5年7月施行予定の「草津市産業振興条例」に掲げる目的の実現に向けて、事業者・産業振興団体・金融機関・教育研究機関・市民と連携、協働しながら、当計画に基づく施策を総合的に推進することにより、本市経済の発展および市民生活の向上に取り組む。併せて、草津商工会議所内にビジネスサポートセンターを設置し、近年増加する創業相談や支援ニーズに効果的・効率的に対応する。

持続可能な未来に向けて新たな価値を生み出す
人が交わり・魅力あふれるまち草津



予算審査における質疑応答／意見〈予算常任委員会〉

議員 ビジネスサポートセンターは商工会議所と共同で設置となっているが、どのような形態なのか。

市 ビジネスサポートセンターは、別組織ではなく、商工会議所の中に相談窓口機能を設けるものである。

議員 商工会議所とは別のものであるという、違いがわかるような周知啓発はどのようにされるのか。

市 ホームページの立ち上げやサポート機能があることを強く打ち出していきたい。

議員 創業支援補助金700万円について、対象者が創業3年未満というのは、3年未満の廃業者が多いことへの支援と推察するが、対象者の見込み数は。

市 創業希望者全体が非常に最近増えている状況であり、今後も増加していくと見込んでいる。

【議第23号】

令和4年度草津市一般会計補正予算

(第9号)

全員賛成

一般会計の補正予算全般の審議

議案概要

国の補正予算が成立したことを受けて、道路等の整備や学校施設の改修等にかかる事業費を令和4年度の予算に計上し直すものや、各事務事業における年度内の執行状況および最終的な財源の見通しに基づき、調整を行うもの。

補正予算の主な内容

当初予算と比較して、基金の積立金が20億9,100万円の増額となった。その主な要因として、個人市民税の増額の見込みと一部の企業の業績が好調なことから、法人市民税の増額を見込んでいて、市税全体で12億2,622万円を増額とする。地方交付税も2億3,771万円の増額となった。また、ふるさと寄附金は7,150万円の増収を見込んでいる。全体として、国の二次補正に伴う増額や市税や交付税の増収に伴い、起債の発行を減額とした。基金残高が総額170億6,500万円となり、当初予算と比較して20億9,100万円の増額となった。

審査における質疑応答／意見

議員 最近の草津市の傾向を見て

いると、当初予算で基金を使うが、年度末の増収分で基金を戻すという傾向が続いている。当初予算の見込みの正確性について、人口増加がみられる草津市として、増収を見込んでの予算立てが出来ないのか問う。

市 本市の人口は、増加傾向にあり現時点では市税の増収が見込めるものの、法人税については、景気の動向等により左右されるので、予算編成を行う上では、歳入予算は低めに歳出予算は高めにというものが、財政の基本ルール。最終的に赤字決算にならない、これが第一義である。今後とも人口増については、配慮しながらの予算編成になってくると思われる。

【議第19号】

負担付きの寄附の受納につき議決を求めることについて

全員賛成

笠縫東まちづくりセンター建設用地取得費用の負担付き寄附

議案概要

草津市立笠縫東まちづくりセンターの建替に向けて、笠縫東学区まちづくり協議会から、将来を見越して、隣接する敷地を取得し、既存の敷地と合わせて整備することにより、センターの機能を高めたという申出があったことから、建設用地の取得にかかる費用を負担付き寄附という形で受納するもの。

審査における質疑応答／意見

議員 笠縫東学区まちづくり協議会の総意か。

市 昨年11月に1回目の理事会、年明けにもう一度理事会が開催された後、臨時総会を開催されて、寄附の決定に至るという手続きを踏まれたので、笠縫東学区まちづくり協議会の総意だと認識している。

議員 今後、地域が費用を負担すれば、基準(敷地面積)を超えた整備をするのか。

市 協働のまちづくり条例では、市は地域に寄り添って支援をしていくという立場にある。実現可能かどうかはその都度、検討して判断していく。

市 来年5月31日までに1億1,500万円を寄附される。

文教厚生常任委員会

【議第16号】
草津市特定教育・保育施設および特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例案

全員賛成

家庭的保育事業の見直しと国基準の改正に伴う見直しにより何が変わるのか？

●議案概要

家庭的保育事業における0歳児を受け入れた際の市独自の制限規定について、国基準に準じた制度に見直しを行うとともに、1人が保育できる乳幼児の数について1人から3人となる。家庭的保育事業者と放課後児童健全育成事業者は「安全計画」を策定し、職員へ周知し定期的訓練を実施すること、衛生管理における研修と訓練を定期的に実施するよう努めることを明記する。

●審査における質疑応答／意見

【議員】 今回の変更で家庭的保育所の定数に変更はあるのか。

【市】 定数に変更はある。現在の規定では0歳児を受け入れる場合は、0歳児が2人の場合は、4人まで、3人の場合は3人までとなっている。今回のこの市独自の例外規定を削除することにより、5人までというように改める。



【議員】 衛生管理について必要な措置を講ずるよう努めるという現在の条文から、今度は定期的な研修や訓練を実施するよう努めなければならないというように変わることで、衛生管理が強化されるのか。どのように対応されるのか伺う。

【市】 具体的に措置する内容が明記されたがこれまでも各施設の中では対応している。それに応じた研修等を市が実施し、各施設に受講していただく。

産業建設常任委員会

【議第11号】
草津市附属機関設置条例の一部を改正する条例案

全員賛成

今後のロクハ公園プールはどんなプールになる？

●議案概要

当プールは、オープンから30年以上が経過している。劣化状況や運営状況を踏まえ、市民ニーズの把握を行い、学識経験者や公募市民、関係団体の代表者等で構成する委員会での専門的・多角的な議論を経て、今後の方針等に係る基本計画を策定する。

●審査における質疑応答／意見

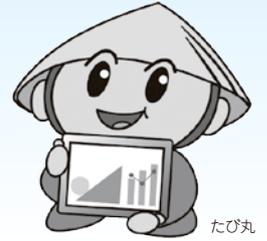
【議員】 ロクハ公園プールはレジャー施設という位置付けである一方で、現在整備中の（仮称）草津市立プールは専門的な使われ方になってくると思われるが、両施設のすみ分けはどうしているのか。

【市】 利用者アンケートから、ロクハ公園プールは市民にとって貴重なレジャー施設であると再確認している。（仮称）草津市立プールとのすみ分けは重要であると認識しており、ロクハ公園プールをどうしていくのか、様々な選択肢があると考えている。

【議員】 検討する上で、市民の意見は反映されるのか。また、市の将来を考える中、経済の活性化の視点は重要であり、ロクハ公園全体についてパークマネジメントの視点は取り入れていくのか。

【市】 令和5年度では市民アンケートをとり、市民ニーズを把握しながら、新たに設置するロクハ公園プール検討委員会において、今後のロクハ公園プールをどのようにしていくのかを、民間参入も視野に入れながら検討していく。

議決結果一覧表



議員別表決結果はHPで見られます。



議案番号	件名	付託先	結果
議第1号	令和5年度草津市一般会計予算	予算	原案可決
議第2号	令和5年度草津市国民健康保険事業特別会計予算	予算	原案可決
議第3号	令和5年度草津市財産区特別会計予算	予算	原案可決
議第4号	令和5年度草津市学校給食センター特別会計予算	予算	原案可決
議第5号	令和5年度草津市介護保険事業特別会計予算	予算	原案可決
議第6号	令和5年度草津市後期高齢者医療特別会計予算	予算	原案可決
議第7号	令和5年度草津市水道事業会計予算	予算	原案可決
議第8号	令和5年度草津市下水道事業会計予算	予算	原案可決
議第9号	草津市個人情報保護法施行条例案	総務	原案可決
議第10号	草津市情報公開条例等の一部を改正する条例案	総務	原案可決
議第11号	草津市附属機関設置条例の一部を改正する条例案	産建	原案可決
議第12号	草津市公の施設に係る指定管理者の指定の手續等に関する条例の一部を改正する条例案	総務	原案可決
議第13号	草津市手数料条例の一部を改正する条例案	産建	原案可決
議第14号	こども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例案	文厚	原案可決
議第15号	草津市立図書館設置条例の一部を改正する条例案	文厚	原案可決
議第16号	草津市特定教育・保育施設および特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例案	文厚	原案可決
議第17号	草津市国民健康保険条例の一部を改正する条例案	文厚	原案可決
議第18号	草津市道路占用料条例および草津市駅前広場管理条例の一部を改正する条例案	産建	原案可決

議案番号	件名	付託先	結果
議第19号	負担付きの寄附の受納につき議決を求めることについて	総務	原案可決
議第20号	指定管理者の指定につき議決を求めることについて	産建	原案可決
議第21号	市道路線の認定につき議決を求めることについて	産建	原案可決
議第22号	市道路線の変更につき議決を求めることについて	産建	原案可決
議第23号	令和4年度草津市一般会計補正予算(第9号)	予算	原案可決
議第24号	令和4年度草津市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	予算	原案可決
議第25号	令和4年度草津市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	予算	原案可決
議第26号	令和4年度草津市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	予算	原案可決
議第27号	令和4年度草津市水道事業会計補正予算(第2号)	予算	原案可決
議第28号	令和4年度草津市下水道事業会計補正予算(第2号)	予算	原案可決
議第29号	草津市公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて	即決	同意
議第30号	南笠町財産区管理委員の選任につき同意を求めることについて	即決	同意
議第31号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	即決	別段異議はない
議第32号	損害賠償の額を定めることにつき議決を求めることについて	文厚	原案可決
会第1号	草津市議会の個人情報の保護に関する条例案	即決	原案可決
意見書第1号	地方の鉄道路線の便数維持・利便性確保に向けた国の積極的関与を求める意見書(案)	即決	原案可決
意見書第2号	精神障害者を福祉医療費助成制度(マル福)の対象とすることを求める意見書(案)	即決	原案可決
意見書第3号	保育士、福祉・介護職員などのケア労働者の処遇改善と職員配置基準の見直しを求める意見書(案)	即決	原案可決

*付託先…議案の審査を行う所管委員会。なお、付託しない場合は、本会議で即決。

代表質問

3月7日には、市議会の5つの会派から、会派を代表して議員が代表質問を行いました。質問と答弁の内容の一部を要約して紹介します。



録画中継
はこちら

草政会

西田 剛

- 草津川跡地における賑わいと潤い
- 指定ごみ袋制度見直し事業費



議員

平成29年の草津川跡地公園開園から6年が経とうとしている。当初の目的として、「市民自身が緑の手入れをし、日々の賑わいを創造し、そして草津川跡地公園の賑わいを地域に波及させていく」としていたが、現状をどのように分析しているのか。

市 草津川跡地は公園空間の役割にとどまらず、本市全体の都市価値を高め、どこにもない魅力のある空間づくりを目指し整備、管理運営を進めている。区間2・5の開園以降、多くの方々に来園いただき、緑の創出による景観を形成し、日常での散歩やジョギング、様々なイベント利用など、活動の広がりによるコミュニティが形成され、防災機能も備えた都市環境形成といった観点からも当初の目的達成に近づいていると考える。

引き続き、残る区間の整備を早期に推進し、継続した管理運営により、時代に合った賑わいが生まれるよう、取り組んでいく。

議員

指定ごみ袋制度の見直しが10月から施行されるが、このことについては市民の理解無くして実施はできない。改めて市民へ丁寧な説明を要請するとともに、子どもをはじめとした福祉施策についても周知はもちろんのこと、確実に実施をお願いするが市の所見は。

市 新制度を多くの方に正しく速やかに伝えられるよう、制度の変更点に関するチラシの配布や周知動画の作成、分別アプリを用いた情報発信等、各世帯にいきわたるよう丁寧に行っていく。

また、紙おむつごみについては、子育て支援として、出生届出時に焼却ごみ袋を2年分、100枚を配付し、障害者支援として、日常生活用具給付事業における紙おむつ給付世帯や在宅心身障害（児）者紙おむつ購入費助成事業の助成対象世帯、在宅で腹膜透析を実施している世帯に対して、焼却ごみ袋を年間50枚配付し、経済的負担の軽減を図る。新制度と併せて周知を進める。

市民派クラブ

粟津由紀夫

- アクティブシニア（元気な高齢者）への支援
- 産業用地の確保



議員

地域共生社会の実現に向けて、アクティブシニアの皆様が経験や知識を生かし、活躍していただける機会が必要ではないか。アクティブシニアの皆様が主に担う、サロンを含めたボランティア等へのさらなる支援が必要だと思うが、市の所見を伺う。

市 アクティブシニアの皆様が長年にわたって培われた技術や経験を生かしていただき、地域の様々な活動に参画いただくことにより、ご自身の健康づくりや生きがいの推進、さらには地域活動の活性化が図られ、地域共生社会の実現につながることを期待する。今後の支援については、引き続き活動費の補助を実施することはもとより、コロナ禍における取組を通じて得られた好事例や、新たに得られた課題に関する情報の公開や共有を図ることにより、引き続き特色ある活動が展開され、アクティブシニアの皆様にも活躍していただける機会の創出につなげる。

議員

人口減少社会を乗り越えるための、本市の経済発展、雇用拡大、税収確保などの好循環を生み出すためには、企業誘致は必須条件だと考える。しかしながら、オファーが数多くあるにも関わらず、結果、すべて断らざるを得ない状況にあると聞き及んでいる。産業用地確保のために、どのような取組を展開していくのか伺う。

市 産業用地の確保については毎年数多くのお問い合わせをいただいております。現在も工業系用途地域の未利用地が少なく、ご希望に沿った物件を紹介できない状況が続いている。今後は都市計画マスタープランにおける産業振興区域の土地利用と合わせて、企業オフィスを含めた産業用地等の創出に向け、調査検討を進めたいと考えている。

また、滋賀県産業立地推進協議会において、企業誘致方策の検討を始め、情報収集や広報活動などに近隣市も含めて県全体で取り組んでいる。

公明党

西村 隆行

- 橋川市長の政治信条
- 「書かない窓口」導入等に関する考え



議員

橋川市長のこれまでの15年間に、マックス・ウェーバー^①の政治家に対する至言である「情熱と判断力の二つを駆使しながら、堅い板に力をこめてじわっじわっと穴をくり貫いていく作業」をされてきたことを具体的に伺う。

市 どの施策についても、この草津をよくしたいとの強い思いのもと、「健やかに幸せに暮らせるまちずっとずっと住み続けたいまち」の実現に向けて、全力で取り組んできたところであり、議員の言葉をおかりすると、情熱と判断力の二つが、私にとっては、「至誠」と「三現主義」であり、その二つの理念を駆使しながら、誠心誠意、情熱を持って事に当たり、各事業施策においても、現場の状況に応じた将来を見据えた判断の連続により、市民の皆様の理解をいただきながら、協働によるまちづくりを進めてきたところである。

議員

令和5年度当初予算で、ICT等を活用した行政のデジタル化を進めることにより、市民サービスの向上と地域社会の維持・発展、さらに行政サービスの効率化をすすめるためにDX・ICT等活用推進費として3,881万8千円を提案されているが、「書かない窓口」導入等に関する考えを伺う。

市 草津市情報化推進計画および草津市行政経営改革プランに基づき、ICTの積極的な利活用や先端技術の活用を含めた業務プロセスの再構築等を推進している。

国では、自治体の窓口DXを推進するため、令和6年度から書かない窓口の全国展開を加速させる方針が示されているところであり、引き続き国の動向や他市の先進事例を注視しながら、時期を逸することなく、時代の変化に対応した最適な行政サービスの実現に取り組んでいく。

日本共産党草津市会議員団

西川 仁

- 子どもの医療費無料拡充・学校給食無償を求める
- 小中学校の教室不足や老朽化の対応



議員

全国で広がる子どもの医療費の無料化の拡充を中学校卒業まで拡大実施すること。12月から3月まで実施されている学校給食の無償化の恒久化。加齢性難聴の補聴器購入補助の創設を求める。

市 子どもの医療費の無料化は、本来、国や県で統一された制度で実施が望ましいと考えている。全国一律の子ども医療費助成制度の創設も提起されている。動向を注視する一方で、他市町の状況を把握しながら適切な時期に判断する。学校給食の無償化は、教員加配、支援員配置、不登校児童生徒への支援などの市単事業を数多く実施しているため、教育委員会全体の予算配分から実施は困難と考えている。補聴器購入補助は、補聴器の装用による認知症予防の効果には明確なエビデンスが確認されていないことや、購入前後の課題もあることから他市の導入状況などを注視していく。

議員

学年進行表によると現施設で教室の不足するところが見込まれることから増設の計画は。また、笠縫小学校が築40年を超えることから近年の建築水準や防災を考えると校舎の長寿命化計画でなく、建て替えの検討をするべきでは。

市 令和5年度は転用可能な教室を使用することで、教室不足は発生しない状況。将来的に教室不足が予想される草津小学校および高穂中学校については、令和5年度当初予算で、特別教室改修工事、ピロティ改修工事に係る実施設計業務の委託料を計上している。老朽化校舎の建て替えは、昭和50年代に整備された施設が多く、一斉に更新時期を迎える。更新を行う際には、コスト面で有利となる以外は長寿命改修化を原則としている。将来的には学級数の減少等、機能集約も考えられる。工事の効率性や財政負担、学校負担を考慮し、改修方法を判断する。

チャレンジくさつ 八木 良人

- 市民ひとり一人の人権が擁護されること
- 生活困窮者支援におけるアウトリーチ



議員 多様性を認め合い差別の無い草津市を実現するため、LGBTQの方に寄り添ったパートナーシップ制度の導入について伺う。子どもの人権侵害が問題となっているが、子どもたち自身が権利を守るため、自分で考え、意見を主張できるような教育の実践について伺う。

市 パートナーシップ制度については、国でも法整備の気運が高まり、全国的に制度を導入する自治体の増加とLGBTQへの理解が深まっている状況に沿いながら、制度導入に向けたさらなる検討を進めていく。子どもたちが自分の意見を主張できる教育については、子ども基本法に述べられているように、子どもが意見を出し合い、認め合い、理解し、合意形成をはかる実践の場を設けることが重要であると考えている。具体的施策として、校則については全ての中学校で子どもが主体となり、制服の議論やその他の内容の見直しを図っている。

議員 草津市は生活困窮者支援の施策をこうじているが、支援の必要な方へ届ける仕組みが脆弱。支援を届けるアウトリーチの具体策について伺う。地域に根ざした福祉事業はアウトリーチの意味から重要である。そのような事業継続について、草津市としての支援のあり方を伺う。

市 支援が必要な方へのアウトリーチについては、民生児童委員や地域包括支援センター等から人とくらしのサポートセンターや担当部署につないでおり、ひきこもりや来庁できない方については、自宅まで訪問し、相談支援を実施している。令和5年度からは、重層的支援体制整備事業において業務を外部委託し、支援が必要な方の早期発見や伴走支援を実施する予定であり、相談支援体制の充実に努める。地域への支援のあり方としては、各事業を通じて関係機関と連携を図り、誰一人取り残さない社会の実現に向けて取り組む。

質疑および一般質問

3月9日、10日には、15人の議員が、議案に対する「質疑」や市政に関する方針や考え方などについて質す「一般質問」を行いました。質問と答弁の内容を一部要約して紹介します。



井上 薫 草政会



市の花「あおばな」の普及啓発

議員 国の地方創生推進交付金を活用しても「あおばな」の普及啓発・普及拡大に、もっと力を入れていくべきではないか。

市 あおばなの利活用と知名度の拡大に対する取組については、景観田の確保、商品開発、販売ルート開拓等を進めているが、十分な実績に至っていない。国の交付金等を活用することも検討しながら、今後も草津あおばな会への支援を推進していきたい。

青花紙存続に対する支援の在り方

議員 伝統の青花紙づくりを保存継承していくため、市の文化財に指定したり活動補助をすることはできないか。

市 現在のところ、指定することは厳しいが、国から文化的価値を評価され、国の財政支援を受けて「青花紙製造技術保存会」が国の選定保存技術の選定を目指して活動されているので、国の補助対象とならない部分の支援などについて、保存会の意見を聞きながら検討していきたい。

田中 香治 草政会



草津市産業振興計画

議員 将来、人口減少局面を迎える事で、市民税、法人税等が減少していくリスクがある。企業と行政等との連携の在り方は。

市 将来にわたって草津市の産業が持続可能であり続けるためには、新たな価値を生み出し、市内産業の活性化と雇用創出を図ることが大変重要であると考えている。今後も市民や事業者、関係機関と連携し、各施策を一丸となって進めることで目指すべき姿を実現していきたい。

再犯防止推進計画

議員 再犯防止施策は、就労、住居、保健医療、福祉等多岐にわたり、特定の部局のみで対応することは困難であると考えているが市の考えは。

市 市としては、保護司会等の更生保護団体への活動費助成を通じて、支援者、関係団体が行う相談業務の支援をしている。また、福祉の総合相談窓口である「人とくらしのサポートセンター」にて関係部局と連携しながら就労支援や居住支援など、社会復帰に向けた必要な支援を行っている。

瀬川 裕海 草政会



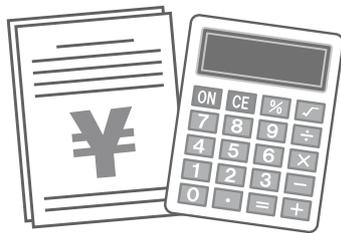
令和5年度予算

議員 予算執行における最大の効果とは。

市 業務変革や効率化を推進し、質、量ともに最適な行政サービスを実現しつつ、事業の重点化を図り、総合計画のリーディングプロジェクトに対して、戦略的かつ効果的に財源を配分することで、限られた財源の中で、新たな行政需要や社会情勢の変化に的確に対応していくことであると考えている。

議員 税外収入の考え方について。

市 草津市行政経営改革プランおよび第2期草津市政規程ガイドラインにおいて、新たな財源の確保を掲げ、企業版ふるさと納税や、クラウドファンディング、公共施設へのネーミングライツ^②の導入等の取組を推進している。他市事例の研究、検証を行い、費用対効果が見込める手法について積極的に取り組んでいきたい。



永井 信雄 草政会



健康寿命の取組

議員 日常生活に制限のある健康でない期間に対し、どのような考え方や対応をされようとしているのか。

市 健康でない期間については、健康寿命の延伸も重要であるが、健康上に何らかの問題を抱えている方も草津市で幸せに暮らすことができるように、引き続き支え合いのまちづくりや誰もが生きがいを持てるような環境整備を進める。

SDGsの取組

議員 市内小中学校におけるSDGsの取組についての現状と課題を伺う。

市 常盤小学校では米づくりを体験し、地域とともに米の消費拡大を図る取組を進めている。松原中学校では地元野菜について学び、その魅力をPRする取組を進めている。一方、課題としては各学校において地域との協働によるSDGsの視点に立った課題解決型のプログラムをいかに作り出していくかであると考えている。

土肥 浩資 市民派クラブ



長寿リスクの回避

議員 長寿リスクとは、長生きすることによって老後の生活に備えた資金が不足し、生活困窮に陥る事態のことを指す。現在、市が長寿リスクの回避に効果があると捉えている既存事業や検討している事業があれば伺う。

市 長寿リスク回避に効果がある既存事業については、高齢者の就労支援としてシルバー人材センターへの財政的人的支援を行っている。現在、その他のリスク回避につながる支援策については検討したものはない。

生涯現役地域づくり環境整備事業

議員 高齢者という人生経験が豊富で多種多様な知識を有する人材が地域や職場で活躍している社会の実現に向けて、厚生労働省が募集している生涯現役地域づくり環境整備事業に採択されるための取組を進めるべきと考えるが。

市 働く意欲のある高齢者が活躍できる環境整備を図ることは大変重要になってくる。ご提案の件については、他モデル地域の取組で出た課題や成果を調査分析し、当市の地域特性を踏まえ、制度構築に向けた議論を深めていく。

その他の質問

- 生きがい
- 第6次草津市総合計画第1期基本計画のベンチマーク

川瀬 善行 草政会



幹線道路と住民生活道路の安全

議員 都計道路平野南笠線は県が事業主体となり整備が進む方向で動こうとしているが全線開通までは先が長い。この辺りは朝夕の通勤ラッシュによる道路渋滞や通学路を通過する車両の危険にさらされている。市道の安全対策を聞く。

市 今は「ゾーン30プラス」という名前で、狭窄やハンプを付け加えた対策が主流で、ETCのデータから得られるビッグデータを使い設置場所を割り出すなど警察と連携し、これらを考慮して住民との協議にあたる。

大江霊仙寺線南笠工区の整備

議員 その1区間は本年度（令和5年3月）に供用のめどがついた。引き続きその2区間の整備が待たれる。ロードマップを示して欲しい。

市 今年度策定予定の草津市都市計画道路整備プログラムで、令和5年度は事業認可の申請、令和6年度は事業区域内の保安林の解除手続きを含む関係機関の調整、令和7年度は実施設計、その後、用地測量・用地取得・文化財調査を経て工事着手を想定している。

その他の質問

- 市立図書館に設ける学習スペース
- 草津PAと連携した拠点整備基本計画

②ネーミングライツ

公共施設の名前を付与する命名権と付帯する諸権利のこと（公共施設の命名権と企業が買うビジネス）

藤井三恵子 日本共産党草津市会議員団



国民健康保険制度の充実を求める

議員 2023年度国保会計見込みと負担軽減策の実施に向けた提案について市の考えを問う。(独自の繰り入れやコロナ対応策について)

市 被用者保険の適用拡大や団塊世代の後期高齢者医療制度への移行により被保険者数が減少し、保険給付が前年比3.3%減少。その一方、後期高齢者医療制度への支援が被保険者一人当たりの負担額が増加するため県への納付金は前年比7.7%増となる。一人当たりの保険料は積立金を活用し据え置く予定である。

高齢者自動車運転事故防止支援策

議員 70歳以上の自動車運転免許証取得者の事故が多発しているため、後付けペダル式踏み間違い防止装置への補助を行うよう求めるが市の見解は。

市 高齢者の運転事故防止対策として、市独自の補助制度の創設・実施の考えはないが、街頭啓発や交通シミュレータ等を使用し交通安全教室等を行う中で、踏み間違い等による事故防止の啓発を引き続き行ってきたい。

その他の質問

- ・個人情報保護法の施行条例
- ・新型コロナウイルス感染基準の緩和での対応は

面垣 和美 公明党



教職員の働き方改革に関連して

議員 コロナ対策の衛生サポーター事業が中止になり、今後教師の負担が懸念される。草津市が目指す働き方改革、また外部への協力を求めることの所見を問う。

市 今後の消毒作業は、通常の清掃作業となり、教師の負担にならないと考える。学校の課題は複雑化、多様化しており業務改善等により子どもと向き合う時間を確保することに繋がると考える。外部への協力も進めていきたい。

不登校対策としての登校支援室

議員 登校支援室の全小中学校の状況についてと、教師の不足によって、開設に学校間の差がないように外部支援員の配置の要望と親支援について。

市 20校のうち18校で対応中。登校支援室として、意義を明確にした上で周知徹底していく。安定した開設のためには、今後外部支援員の配置も検討していきたい。保護者への支援は現在も行なっているが、スクールソーシャルワーカーの増員や保護者会の回数を増やしていきたい。

その他の質問

- ・「草津市学校業務改善プラン」の進捗状況と学校現場の声の反映について

奥村 恭弘 市民派クラブ



公立小中学校の通学区域の弾力運営

議員 通学区域制度の弾力運用に向けた調査・研究を積極的に行う考えはあるのか。

市 国の通知にもあるが、自治体の実情に即した判断が求められていることを前提に、就学すべき学校の指定変更や区域外就学については、児童生徒の個別の事情に即し、適宜必要な審査を行っているところである。また、学校選択制について、本市では人口が減少になった際に再検討をすることとしている。

草津市役所の職員力向上

議員 正規職員、任期付職員、会計年度任用職員の仕事内容(役割)はどうなっているのか。

市 業務の内容や責任の程度等に応じて分担しており、正規職員は組織運営や政策立案、許認可権の行使等、業務の難易度や責任が高い本格的業務を担い、そのうちの特定業務や一定期間で終了する業務等については、任期付職員が担うこともある。会計年度任用職員は書類作成、市民対応等、本格的業務以外の一般事務を担う。

その他の質問

- ・公文書の管理は
- ・草津市に「人事部」を設置した場合の効果は

石本恵津子 チャレンジくさつ



健幸都市づくり推進

議員 産官公民が連携して、ALLくさつで施策を遂行するにあたり協働による啓発やその取組について問う。

市 健幸フェアや、立命館大学BKCで行われたびわこ・くさつ健幸フェスタには、市の関係部署や民間企業等が参画。来年度も開催予定、新たに映画館での啓発動画放映も行う。健幸都市づくりへの賛同企業や新たな企業とも市にお話をいただければ一緒に出来ることを考えていく。

高齢者に対するeスポーツの普及啓発

議員 令和4年度健幸都市づくり推進チームによる政策提案事業、eスポーツの具体的な事業展開について問う。

市 イベントにおいて、高齢者向けの体験ブースと自主的活用に向けて相談ブースを設ける。地域の活動団体や介護事業所等に対して事業周知を行い、アドバイザーを派遣し、機材設定や操作説明を行い、自主運営いただき、交流機会の創出や脳の活性化等を通じた介護予防活動につなげたい。

山元 宏和 草政会



令和5年度予算の考え方

議員 公共施設照明現況調査費や再エネ等
多活用調査費の詳細について尋ねる。

市 公共施設照明現況調査費は、公共施設のLED照明
の計画的な導入に向けて現況調査を行い、照明の種類
や数量を確認し、CO2排出量削減効果の試算を行う業
務の委託費である。公共施設のLED化の目標として
は2030年までに導入完了を目指していきたい。

自然環境保全地区

議員 自然環境保全地区は市が指定されたものである
が、高齢化や人口減少が進む地域での今後の保全や利
活用について市の考え方を尋ねる。

市 残された自然環境を保全し次世代に継承すべく、
良好な自然環境を残している地域を土地所有者の理解
のもと市が指定している。地域の方々が高齢化してい
るのは承知しているが、従来より保全と多活用を進め
てこられた地域の文化や
土壌を大切にしながら、
サポートできる場所は
サポートしていきたい。



その他の質問

- ・クリーンセンターのゴミ発電等の効果的な
余剰電力の多活用について

遠藤 覚 草政会



公共施設包括管理業務委託の導入

議員 4月から「公共施設包括管理業務委
託」を導入。導入により職員の削減を行
い、効果の見える化が必要。

市 施設担当部署ごとに行っていた保守管理業務を一
括して委託するもの。品質向上、業務負担軽減、人件
費の削減効果がある。導入により人件費は約4,800万
円削減可と試算、人数換算で6人分。定期的に修繕コ
スト削減状況の確認を行う。また、満足度などアンケ
ートを行い把握に努める。

JR大雪立ち往生時 対応と課題

議員 駅周辺の民間施設と帰宅困難者受入れ協定はあ
るものの活用できず。被害情報収集、対応に市役所一
丸で当たるべき。

市 JRからの支援要請が無かった。協定は大規模地
震を想定していたが、協定先とは改めて内容の確認を
行ったところ、今後は豪雪時にも対応していく。他の
災害時協定についても全体的に確認を行っていく。議
員提案のとおり、市内公共施設の職員等から情報提供
がなされる仕組み作りは必要と考える。

その他の質問

- ・安全に利用される電動キックボードのために
・個別避難計画の作成

服部利比郎 草政会



草津市のDX推進における計画の見直し

議員 DXの推進にあたっては現在の情報
化推進計画では取り組む内容、スピード
が遅いと感じる。計画の見直しはしないのか。

市 アクションプランを毎年確認しながら進めている
が、策定期間が国の方針と前後していることから若干
古いところもある。DXの取組については現在のアク
ションプランを修正していくとともに、今後草津市の
あるべき姿については調査もしっかり行い、DXとい
う言葉で次期計画を策定していく。

デジタルデバイド対策の取組

議員 これからのDX推進に不可欠なデジタルデバ
イド対策について、次年度以降はどのように取り組んで
いくのか。

市 民間事業者と自治体が連携してスマホ講座を実施
する国のデジタル活用支援事業の仕組みは、令和7年
まで継続されることから、本制度を活用するととも
に、滋賀県でも市町と連携した対策を実施していく
ことから、さらに様々な主体と協力しながら進めていく。

その他の質問

- ・次年度予算「DX戦略調査業務委託費」に
ついて
- ・業務改革推進チームの役割とDX推進の関
係について

小野 元嗣 草政会



まちづくり協議会一括交付金

議員 玉川学区野路町では町内会加入世帯
数は10,446世帯。住所別人口では5,100世
帯。5,000世帯以上の乖離があり100万円以上低い
交付金の不平等の是正策を問う。

市 来年度が現行制度の最終年度となり、次期制度に
向けた見直しの検討を行い、まちづくり協議会連合会
において、町内会世帯数と住民基本台帳に基づく世帯
数に乖離があるなど現状も共有し、各学区のご意見も
十分お伺いし、限られた予算の中でよりよい制度を検
討し進める。

各園の保育士不足

議員 保育士不足の根本的原因は、仕事内容に比べ報
酬が少ないこと。子育て世代が増加中の草津市独自の
報酬増額などの対策を問う。

市 本市独自に国が行う処遇改善等加算の単価に
2.5%を乗じた額を補助し、報酬増額に繋がる対策を
実施しているところだが、今後も状況の変化に応じて
見直していく。

その他の質問

- ・草津警察署への増員配置と交番増設
- ・市の難病相談窓口と寄り添い

「草津市議会の個人情報の保護に関する条例」を制定しました



会第1号

草津市議会の個人情報の保護に関する条例

個人情報の保護に関する法律が改正されたことに伴い、草津市個人情報保護条例が廃止され、新たに草津市個人情報保護法施行条例が制定されますが、議会はその適用から除外されることになります。

そのため、これまでと同様に、草津市議会における個人情報を保護し、執行機関の取扱いと差異が生じないようにするため、「草津市議会の個人情報の保護に関する条例」を制定しました。

議案書をホームページに掲載していますので、制定した内容については、こちらからご覧ください。



伊吹 達郎 草政会



全国都市緑化フェアの誘致

議員 草津川跡地公園を有する草津市を中心に県、近隣都市と連携を取りながら全国都市緑化フェアを誘致してはどうか。

市 全国都市緑化フェアは150万人の来場者が見込まれる大規模イベントであり、都市緑化意識の啓発や情報発信だけでなく観光振興等の波及効果が期待できるが会場整備や組織体制の構築、財源の確保が必要になる。県、近隣都市の都市緑化への盛り上がり、開催主体も含め見定めていく。

「脱炭素先行地域」選定

議員 「脱炭素先行地域」選定を受けて意欲的にカーボンニュートラルの実現に向けて進めていってはどうか。

市 米原市や湖南市などの先進事例を調査研究するとともに、環境省や県との調整を踏まえ「脱炭素先行地域」づくり事業などの国の支援スキームを積極的に活用することで地域の課題を脱炭素側面から解決していくための施策に戦略的に取り組んでいく。

その他の質問

- ・入札制度の適正化
- ・地域まちづくりセンターの指定管理制度



令和5年6月定例会の開催予定

皆様の傍聴をお待ちしています！

月	火	水	木	金	土	日
5	6	7	8	6/9 10:00~ 本会議(開会)	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20 10:00~ 本会議 (質疑および一般質問)	21 10:00~ 本会議 (質疑および一般質問)	22 10:00~ 本会議 (質疑および一般質問)	23 9:30~ 総務常任委員会	24	25
26 9:30~ 文教厚生 常任委員会	27 9:30~ 産業建設 常任委員会	28 9:30~ 予算常任委員会	29	30 10:00~ 本会議 (委員長報告、採決、閉会)	7/1	2

日程は、都合により変更になる場合があります。日程の変更は、ホームページでお知らせします。



知ってほしい、議会の活動

令和5
2月

えふえむ草津で 議会の活動を報告しました!!



市議会議員3名とパーソナリティで収録を行っている様子

草津市提供コーナー「スマートウェルネスくさつ〜めざせ健幸都市〜」に、広報広聴委員会所属の市議会議員3名が出演しました。

当番組は、47回（令和5年2月時点）の放送を迎えましたが、議会をテーマとした放送は初めての試みとなりました。

議会の仕組みや、議会だより令和5年2月1日号に掲載している「草津のサンヤレ踊り」、「焼却ごみ袋の有料化」、「ゼロカーボンシティへの意識」などを中心に、見どころを紹介しています。

インターネットからいつでも・どこでもオンデマンド放送で聞くことができますので、ぜひお聞きください。

こちらから
お聞き
いただけます。



図書館 での 学習スペース確保について議論!!

草津市立
図書館
(本館)



高校生との意見交換会を経て、執行部で検討された結果、2月定例会にて、草津市立図書館本館および南草津図書館において、学習スペースを確保するための条例改正案が提案され、多くの意見がでました。

議員



新年度の予算において、読書のまち推進費の中で、図書館の学習スペース整備の予算が計上されているが内容について。

図書館本館の開館40周年記念を迎えるにあたって図書館の魅力向上事業として、学習スペースの整備を行う。これは、議会と高校生の意見交換会で、高校生の意見として要望があったことがきっかけとなった。

市

どれくらいの規模で整備されるのか。

本館の2階の会議室を利用するもので、おおよそ10席～12席。
南草津図書館は、フロアのフリースペースの半分を利用し、5席程度となる。
席数が限られていることもあり、時間制とし、管理する人を配置する。



市議会として・・・

- 議会の広聴機能を高める目的で、高校生との意見交換会を実施し、市に対し、意見交換会で出た意見を実現してほしいと議会から要望を挙げ、提案が実現されるのは非常に喜ぶべきことである。
- 規模については、想定より小さいため今後の利用状況を踏まえ、見直しを検討してほしい。
- 次代を担う高校生からの意見は、市として大変貴重なものである。
教育委員会だけで検討をするのではなく、今後は市全体として検討するべきものではないか。

令和5年
7月28日

高校生と市議会議員との 意見交換会をします!!

私たち草津市議会は、若者の議会活動に対する認知度の向上や、若者がまちづくりを考えるきっかけをつくっていただくためにも、次代を担う高校生との意見交換会が大変貴重な機会と認識しており、昨年度、初めて実施しました。今年も広報広聴委員会において次のとおり「高校生と市議会議員との意見交換会」の実施に向け、準備を進めています。



- 開催日：令和5年7月28日(金)
- 会場：草津市役所本会議場、委員会室等
- 参加者：草津東高等学校 玉川高等学校 市議会議員
湖南農業高等学校 草津養護学校



▲高校生たちを政策秘書に任命



▼高校生によるテーマ説明

令和4年7月29日(金)
に実施した意見交換会
の様子を紹介するたび!



▲意見交換中



ハイスクールで
"highなCity"創り!!
～素敵なまちで暮らすために～



集合写真

◀議員と高校生が意見交換内容を発表



次代を担う高校生からの貴重なご意見を聴き、多角的な視点から物事を考え、草津市がより住みやすいまちになるために、意見交換したいと思います。そして、議員24人が今後の活動に生かすとともに、可能なものについては実現していきたいと思います。

草津市議会ホームページ

<https://www.city.kusatsu.shiga.jp/shigikai/>



ご意見・ご質問をお聞かせください。

本号に記載している内容等について、市民の皆様からのご意見・ご質問をお待ちしております。いただいたご意見をもとに引き続き、より良い議会だよりの作成に努めていきます。

【草津市議会】〒525-8588 草津市草津3丁目13番30号
TEL.077-561-2413 / FAX.077-561-2485
Eメール gikai@city.kusatsu.lg.jp



スマートフォン
専用アプリ



マイイロ
(IBi広報誌)



SideBooks(地域本棚)



広報広聴委員会

- | | | | | | | | | | | |
|------|------|------|-------|---------|------------|---------|-------|----------|-------|--------|
| ● 予算 | ● 産建 | ● 文厚 | ● 総務 | ● 委員会選出 | ● チャレンジくさう | ● 日本共産党 | ● 公明党 | ● 市民派クラブ | ● 草政会 | ● 会派選出 |
| 山元 | 川瀬 | 遠藤 | 栗津由紀夫 | | 石本恵津子 | 藤井三恵子 | 西垣 和美 | 杉江 昇 | 田中 香治 | |
| 宏和 | 善行 | 覚 | | | | | | | | |

編集後記

草津市は、歴史文化が根強い地域性を生かし、まちづくりを進めています。この時期は、三大神社や志那神社等で「藤の花」が咲き、人々の心を癒しています。三大神社の藤は樹齢400年以上と言われています。志那の3つの神社に藤が咲き誇るため、「志那三郷の藤」とも言われています。自然や景観の美しさを感じ、連休を過ごしてはどうでしょうか。

草津市議会広報広聴委員一同